

# 東京大学

2020年10月12日  
第1回ジョブ型インターンシップ推進委員会





# 育成したい博士像・修士像 工学系研究科

学士・修士・博士取得後のどこからでも多様なキャリアパス

社会での活躍

就職

就職

就職

学部

4年間

入学

## ■ 修士課程(2年)

(博士前期課程)

- 研究はよりプロフェッショナルに深化
- 内部進学生だけでなく外部大学・海外からの学生の参加
- 海外・外部機関等との連携増大、国際学会での発表
- 自主性がより重んじられる

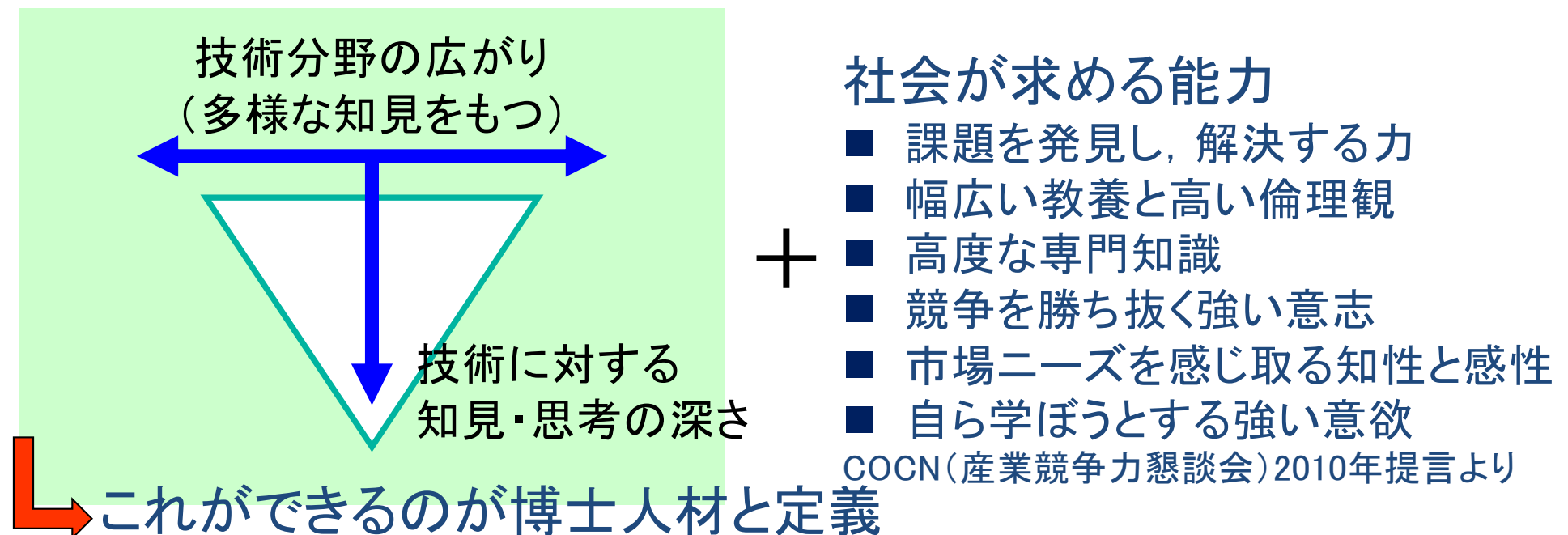
進学

## ■ 博士後期課程(3年)

- 新しい社会を切り拓く人材
- 学生であっても、プロフェッショナルな研究者
- 汎用的問題解決能力の育成：その研究分野にとどまらない幅広い能力を身につけるフェイズ
- 海外・外部機関との共同研究を主導するケース多数

# 社会に求められる高度博士人材 工学系研究科

- **高い専門性（研究者としての高い資質）とリーダーシップ**  
専門研究領域の習得のみならず，専門領域の周辺（基礎理論から応用，関連技術）までの幅広い知見を有することへの期待
  - － 幅広い知見を活用して，技術トレンドの最先端を強化する研究開発プロジェクトの設計およびプロジェクト・リーダーとしての活動を期待
- **世界を先導して問題を発見・解決できるフロントランナーへ**  
複雑化・多分野化・地球規模化する課題の解決はどこにも手本がない。



# 東京大学における研究インターンシップの事例

東京大学大学院全体におけるインターンシップ実施状況（令和元年度）

区分	修士等	博士	大学院計
大学院科目	131	31	162
学部科目等	30	12	42
正課外	131	3	134
合計	292	46	338

※インターンシップを含む授業科目における科目毎の参加延人数。

※学部科目等欄の数は、教職科目や学芸員資格のための科目を含む。

期間別集計)

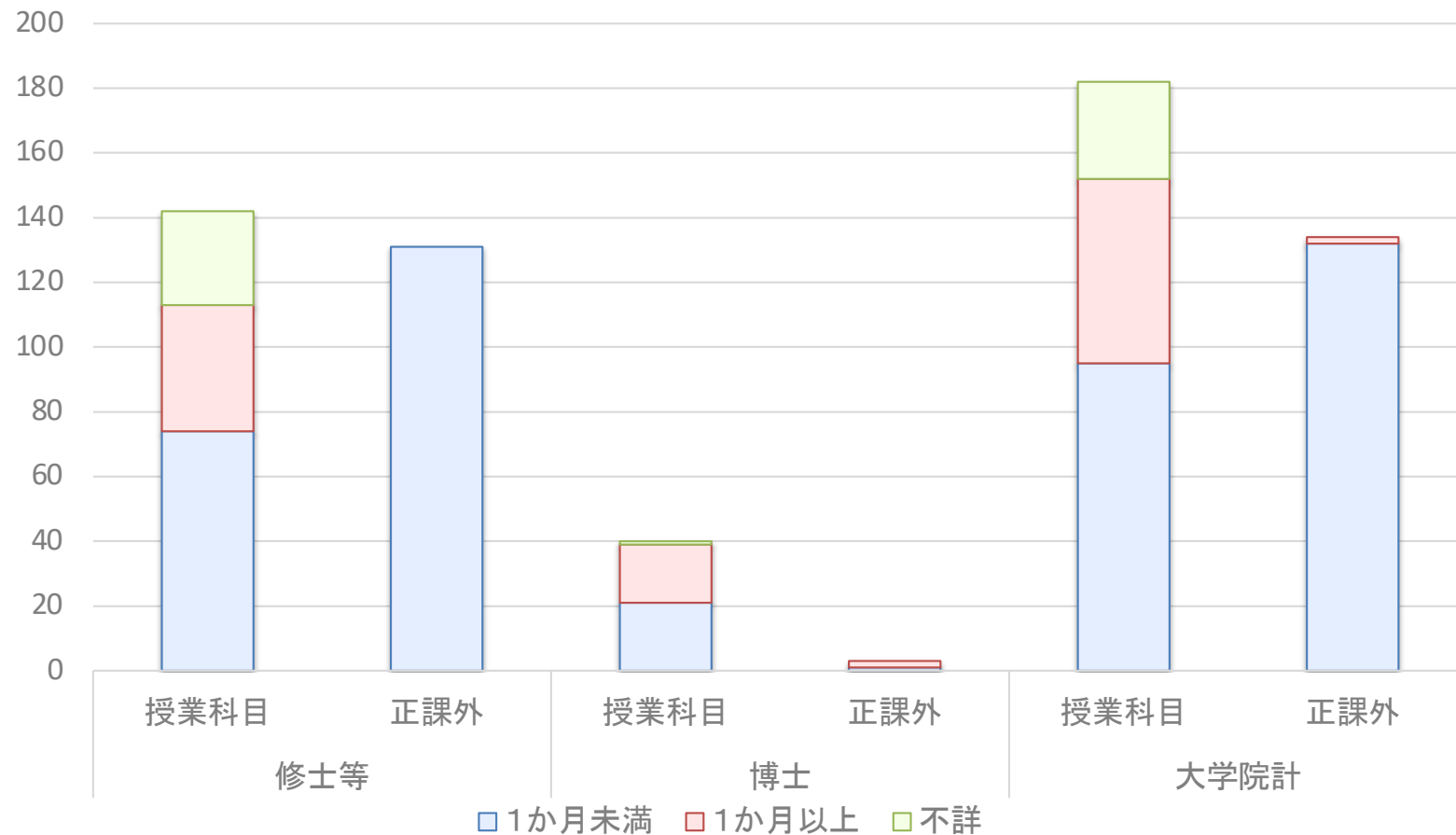
区分	1か月未満		1か月以上		不詳		合計	
	修士等	博士	修士等	博士	修士等	博士	修士等	博士
大学院科目	67	19	37	12	27	0	131	31
学部科目等	7	2	2	6	2	1	11	9
正課外	131	1	0	2	0	0	131	3
合計	205	22	39	20	29	1	273	43

博士課程リーディングプログラム及び文科省卓越大学院プログラムにおけるインターンシップ実施人数

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1
全体	4	33	103	84	92	133	151	64	71
うち1ヶ月以上	1	1	6	11	37	52	29	38	42

# 東京大学大学院におけるインターンシップの概況

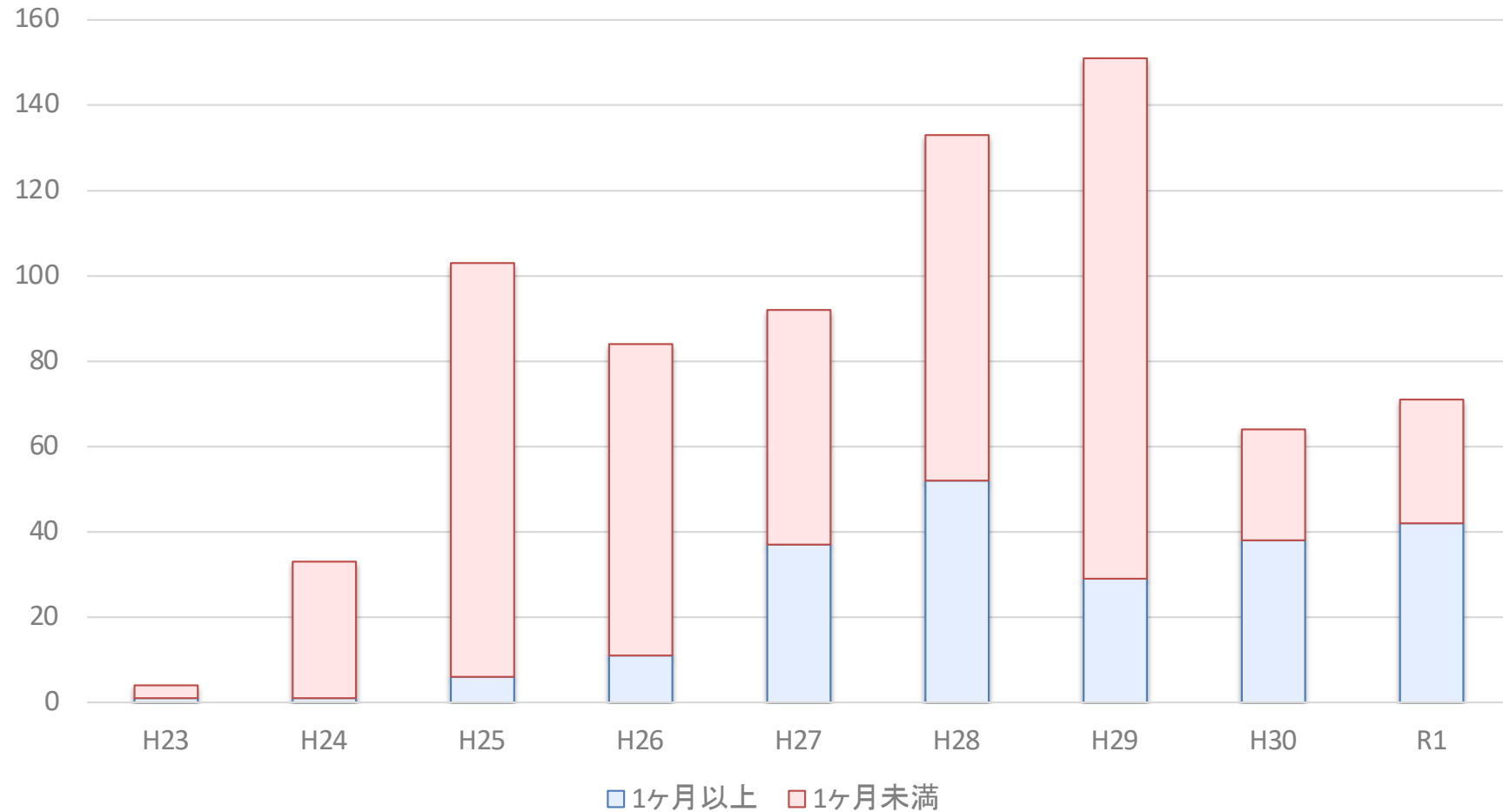
## 大学院全体における実施状況(令和元年度)



※インターンシップを含む授業科目における科目毎の参加延人数。

※授業科目には、教職科目や学芸員資格のための科目も含む。

## 博士課程



# 工学系研究科 機械システム・イノベーションGMSI

## 人材育成方針 Human Resource Development Plan

### 1 工学と社会とを俯瞰することのできる能力の涵養

●境界領域、フロンティア領域のカリキュラム強化。

専門力

コンピテンシー

●キャリアパスをサポートするため、企業で活躍する博士課程修了者等による講演会を実施する。

基礎力

●国内インターンシップ：博士課程の学生を企業に送り込むだけでなく、企業から積極的に教育に関与していただく。

基礎力

専門力

●国際インターンシップ：海外企業をも対象とする。

基礎力

専門力

リテラシー

### 2 国際性と深い専門知識とに基づいた競争力の涵養

●海外への派遣：海外の大学、研究所に数ヶ月程度滞在し、協同研究を推進する。

専門力

リテラシー

●海外からの招聘：海外の著名な大学、研究所から博士課程学生、ポスドクを招聘し、国際的教育研究環境を拠点内に実現する。サマーキャンプなどの合宿形式で英語での討論を行い、コミュニケーション力、競争力を伴った専門力を培う。

専門力

リテラシー

コンピテンシー

### 3 産業界・学术界で活躍するためのリーダーシップの涵養

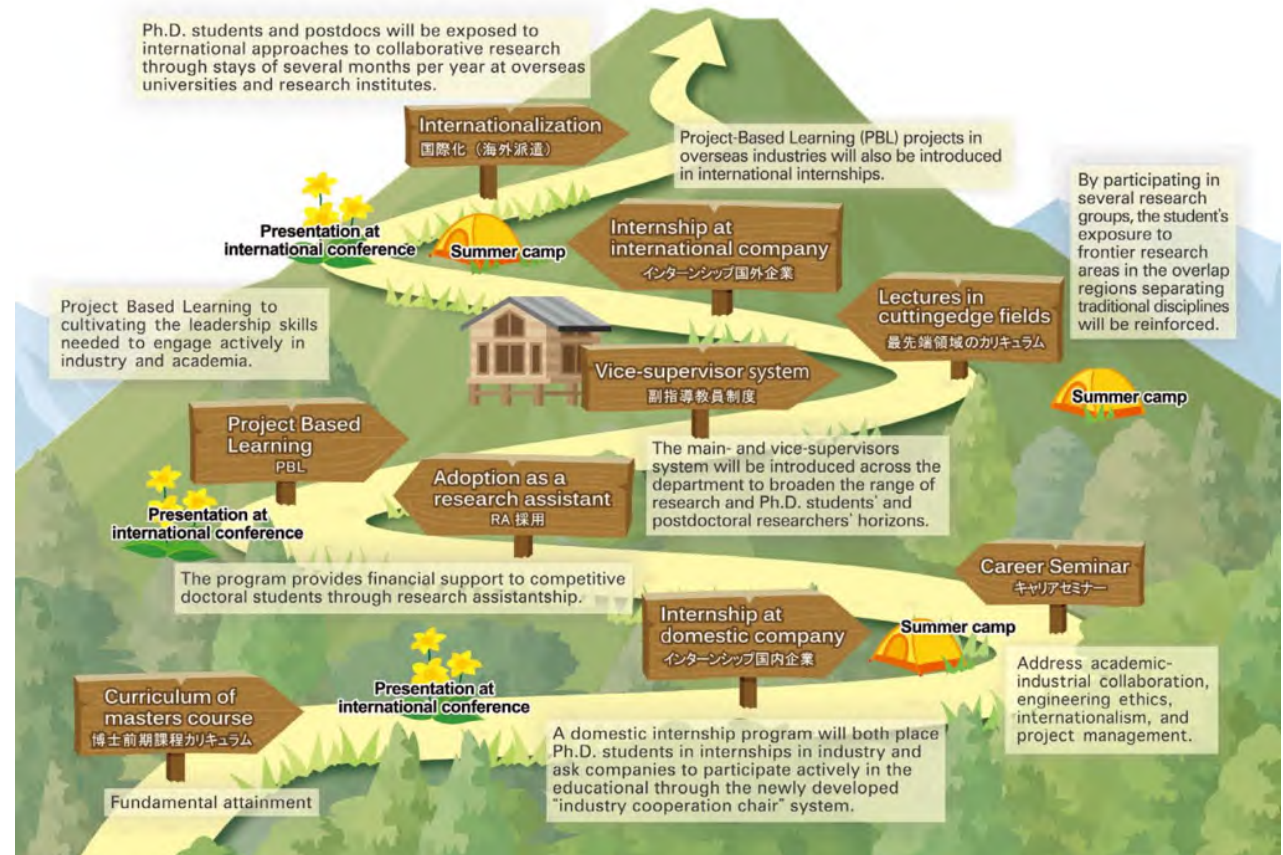
●企業提案による課題をチームにより解決する Project Based Learning (PBL) を実施する。チームワーク、プロジェクトマネジメント、分野融合、ニーズオリエンテッドなアプローチを学ぶ。

専門力

コンピテンシー

## 工学コンピテンシーⅡ-研究インターンシップ

- 企業からの課題を解決するインターンシップ。修士は2ヶ月以上、博士は3ヶ月以上の実習期間を基本とする。
- 「工学コンピテンシーⅡ-研究インターンシップ-(2単位)」の要件を満たした場合、単位認定。





## 修士課程

- インターンシップと採用活動の関係の整理
- 学事暦への配慮
- 知財、ワークルール教育
- 大学におけるキャリア教育の深化



まず、博士課程で実績を



# 博士後期課程学生の参加拡大に向けて課題

- 博士課程進学率の低下
- 学事暦との整合
- 奨学金制度、フェローシップ制度との整合
- 知財、ワークルールに関する事前教育
- 業界団体や学会の関与の促進
- グッドプラクティスの普及
- ロールモデルの構築
- 文系、ポスドクへの展開